



2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月14日

上場会社名 メディアファイブ株式会社
 コード番号 3824 URL <https://www.media5.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 活
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 川上 隆幸
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	1,302	△1.4	10	△72.6	11	△72.1	1	△95.6
2022年5月期第3四半期	1,321	16.2	37	—	39	—	36	—

(注)包括利益 2023年5月期第3四半期 1百万円 (△95.6%) 2022年5月期第3四半期 36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	1.69	—
2022年5月期第3四半期	38.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第3四半期	639	349	54.6	371.60
2022年5月期	781	347	44.5	369.91

(参考)自己資本 2023年5月期第3四半期 349百万円 2022年5月期 347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年5月期	—	0.00	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,849	2.8	16	△46.8	15	△48.7	12	△59.8	12.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期3Q	986,000 株	2022年5月期	986,000 株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	46,000 株	2022年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期3Q	940,000 株	2022年5月期3Q	940,000 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するものの、行動制限の緩和等により社会経済活動は徐々に正常に向かい、景気回復の兆しも見えつつあります。今後の変異株の動向など、不透明な状況もありますが、ウィズコロナの生活様式が確立され、新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークやオンラインを活用した経済活動を常態化させる動きと、以前の状態へ戻す動きに二極化する一方、クラウドサービスの活用、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、社会全体としてIT活用の流れが一層増加しており、企業のIT投資は引き続き増加する傾向にあり、IT人材の需要は引き続き高い状況にあります。

このような環境の中、当社グループでは、当連結会計年度を初年度とする新三ヶ年中期経営計画「DXリベンジャーズ2025」に掲げているとおり、人材確保・育成のための先行投資としてITエンジニア育成研修を拡大、未経験者や新規卒者を積極的に採用し、育成に注力しております。加えて、研修カリキュラムの改修を行ってまいりました。また、テレワークによる対面機会の減少に備え、人事部門を再編しフォローアップ体制を強化いたしました。ITエンジニアの帰属意識の向上、技術力の向上を図るとともに、自由度の高い働き方の提供によるワークライフバランスの向上で、優秀な人材の囲い込みを図っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるSES事業は、ITエンジニアの需要が高まっていることを背景として、新規取引先の獲得及び既存取引先における契約単価交渉、戦略的な配置転換を行ってまいりました。

ソリューション事業は、前連結会計年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

工事関連事業は、福岡県内における内装工事等を手掛けております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,302,472千円（前年同四半期は1,321,041千円）、売上総利益453,207千円（同440,715千円）、営業利益10,393千円（同は37,966千円）、経常利益11,049千円（同39,642千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,589千円（同36,185千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

①SES事業

SES事業は、IT人材に対する企業需要の高まりを背景とし、新たに育成したITエンジニアの就業先を確保するとともに、ITエンジニアの戦略的な配置転換等を行ってまいりました。テレワークが普及したことで、福岡地区及び首都圏の案件について、ITエンジニアの所属地区を限定せず獲得することができております。また、技術力に応じた契約単価交渉も積極的に行ってまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,152,382千円（前年同四半期は1,152,792千円）、セグメント利益は252,754千円（同231,381千円）となりました。

②ソリューション事業

ソリューション事業は、前連結会計年度に引き続き、安定的に中規模・小規模のシステム開発案件を受注しております。中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスは、企業のIT活用の拡大により需要が高まっております。また、今後の業容拡大を目指し東京地区での営業活動に注力してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は63,304千円（同60,177千円）、セグメント損失は4,836千円（同7,088千円のセグメント利益）となりました。

③工事関連事業

工事関連事業は、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に事業を行っております。当第3四半期連結累計期間は、既存先への提案型営業を強化し、新規案件獲得の動きに注力いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は88,440千円（同109,632千円）、セグメント利益は1,201千円（同9,776千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は639,998千円(前連結会計年度末は781,868千円)、うち流動資産511,141千円(同655,162千円)、固定資産128,857千円(同126,705千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金322,917千円(同414,283千円)、売掛金158,857千円(同205,940千円)、未収入金4,536千円(同4,890千円)等です。固定資産については、有形固定資産9,493千円(同4,142千円)、無形固定資産10,863千円(同4,391千円)、長期前払費用18,036千円(同18,100千円)、敷金及び保証金44,586千円(同44,130千円)、繰延税金資産35,013千円(同43,560千円)等です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は290,694千円(同434,153千円)、うち流動負債162,534千円(同291,953千円)、固定負債128,160千円(同142,200千円)となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金8,984千円(同27,825千円)、短期借入金15,000千円(同15,000千円)、1年以内返済予定の長期借入金18,720千円(同7,800千円)、未払金15,070千円(同18,501千円)、賞与引当金43,072千円(前連結会計年度末の計上なし)、未払消費税等18,776千円(同46,960千円)、未払費用19,682千円(同134,127千円)、預り金19,057千円(同20,272千円)等です。固定負債については、長期借入金128,160千円(同142,200千円)です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は349,304千円(同347,715千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	414,283	322,917
売掛金	205,940	158,857
契約資産	17,934	—
仕掛品	845	8,600
原材料及び貯蔵品	228	247
未収入金	4,890	4,536
前払費用	9,123	9,420
未収還付法人税等	—	3,271
その他	3,088	3,371
貸倒引当金	△1,173	△80
流動資産合計	655,162	511,141
固定資産		
有形固定資産	4,142	9,493
無形固定資産	4,391	10,863
投資その他の資産		
長期前払費用	18,100	18,036
敷金及び保証金	44,130	44,586
従業員に対する長期貸付金	6,364	4,847
繰延税金資産	43,560	35,013
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	118,171	108,499
固定資産合計	126,705	128,857
資産合計	781,868	639,998
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,825	8,984
短期借入金	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	7,800	18,720
未払金	18,501	15,070
未払費用	134,127	19,682
未払法人税等	16,308	—
未払消費税等	46,960	18,776
賞与引当金	—	43,072
預り金	20,272	19,057
契約負債	5,055	3,998
その他	103	172
流動負債合計	291,953	162,534
固定負債		
長期借入金	142,200	128,160
固定負債合計	142,200	128,160
負債合計	434,153	290,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	198,925	198,925
資本剰余金	164,625	164,625
利益剰余金	△7,011	△5,422
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	347,715	349,304
純資産合計	347,715	349,304
負債純資産合計	781,868	639,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	1,321,041	1,302,472
売上原価	880,326	849,265
売上総利益	440,715	453,207
販売費及び一般管理費	402,748	442,814
営業利益	37,966	10,393
営業外収益		
受取利息	227	173
保育事業収益	34,915	29,754
雑収入	333	5,472
営業外収益合計	35,477	35,400
営業外費用		
支払利息	506	438
保育事業費用	33,293	34,305
営業外費用合計	33,800	34,743
経常利益	39,642	11,049
特別損失		
減損損失	312	—
特別損失合計	312	—
税金等調整前四半期純利益	39,330	11,049
法人税、住民税及び事業税	2,685	913
法人税等調整額	459	8,547
法人税等合計	3,144	9,460
四半期純利益	36,185	1,589
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,185	1,589

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	36,185	1,589
四半期包括利益	36,185	1,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,185	1,589
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。